



学校だより

平成29年8月29日(火)

第765号

さいたま市立日進小学校

TEL: 663-6942

体験の価値

校長 並木 昌和

暑かった夏休みが終わり、今日から2学期の始まりです。元気な子どもたちの声が学校にもどってきました。

残念なことに、今年の夏休みはなかなか太陽と触れ合うことができなかつたようです。私たちの住んでいる地域も雨が多かつたのですが、記録的な大雨の被害を受けた地域のニュース、交通事故や水の事故等、子どもを預かる者として、親として本当に胸が痛くなります。何も無いように、何も起こらないようにと心掛け、準備をしても悲しいことが起きてしまうことがあるのが現実です。こう考えると、登校時に旗持ちをしていただいているPTAの皆さんや下校時に防犯パトロールで子どもの安全を見守っていただいているボランティアの方々には本当に頭が下がる思いです。ありがとうございます。

2学期は、運動会をはじめ、修学旅行や校外学習、駅伝大会など多くの行事が予定されています。様々な面で保護者・地域の皆様にはお力添えをいただかなければなりません。どうかよろしくお願い致します。

さて、2学期の子どもたちの顔が1学期とどこことなく違って見えるのは私だけではないと思います。これは、長い夏休みの間にいろいろな体験をして大きな成長をしたからでしょう。もちろん、その成長の度合いはその子がどんな体験をどのくらいし、どんな思いを抱いたか等で、個人差も大きいと思います。体験は、子どもの感性や思考力を育てるのに非常に重要です。体験することそのものに大きな価値があります。体験を改めて見直し、体験で得た価値あるもの、その後の考え方や生き方に生かすことができたなら、さらに意義ある体験とすることができます。このような考えから、夏休み中に学年に応じた課題を与えています。夏休み中の課題は、豊かな体験の機会であり、その成果はその後の生活を切り拓く手掛かりになるものです。

豊かな感性や思考力を育てる上で、体験や自分の行動を振り返ることもたいへん重要なことです。振り返ることにより新たな気づきを生み、さらなる成長を促すからです。自分の体験や生活を振り返り、自分の思いをはっきりもつことは、とても意味のあることです。将来の夢や希望も、こうしたことの積み重ねの中から、育まれていくものだと考えます。今学期の教育活動は、子どもたちがその子らしい夢のもてる教育活動が多くなります。今学期も教職員一同力を合わせて頑張ってまいります。今学期もご支援・ご協力をよろしくお願い致します。